

30P1-am128

沢瀉の品質に関する研究—抽苔が成分に及ぼす影響に関する検討—

○豊岡 寛美¹, 土田 貴志¹, 荒木 安子², 俣野 豊², 大窪 敏樹¹, 柴田 敏郎³(¹カネボウ製薬(株)漢方研, ²カネボウ製薬(株)評価・分析セ, ³医薬基盤研・薬植セ・北海道)

【目的】沢瀉は八味地黄丸などに利水薬として配合される. オモダカ科のサジオモダカ *Alisma orientale* Juzepczuk の根茎を基原とし, 主として中国四川省, 福建省, 広西壮族自治区などで栽培, 生産されている. 市場品沢瀉を比較すると alisol 類の組成, 硫黄含量などに差が認められた. また, 外形においても差が見られたことから抽苔の有無と成分の関係について検討した.

【方法】サジオモダカは長日条件により抽苔するため, 独立行政法人 医薬基盤研究所 薬用植物資源研究センター 北海道研究部にて 3 系統の実生苗を育成し, その一部を長日処理して抽苔株を, 通常(短日)条件により未抽苔株を作製した. これらの株について沢瀉の利水成分である alisol 類, 核酸成分の一つであるグアノシン及び硫黄含量を定量し比較した. また, 併せて乾燥条件の影響についても検討した.

【結果及び考察】今回の検討の結果, alisol B 及び alisol B monoacetate の含量比は抽苔株と未抽苔株において有意な差が認められた. また, 抽苔の有無により硫黄含量及びグアノシン含量についても有意差が認められ, 抽苔株のグアノシン含量は未抽苔株よりも高い値を示した. 硫黄含量については, 未抽苔品は抽苔品より有意に高かったが, 市場品の中には今回の試験結果を大きく上回るサンプルも認められ, これらについては今後さらに検討を要する. 乾燥温度によって alisol 類及び硫黄含量に変化は認められなかったが, グアノシン含量は高温乾燥時の方が高含量であり, その差は顕著であった. 一方, 市場品沢瀉中に検出される alisol A 及び alisol A monoacetate はいずれの株においても認められなかった.